

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立都島中学校

令和 7 年 5 月

**現状と課題**

「大阪府中学生チャレンジテスト」において、全国や大阪府・大阪市の、平均あるいはそれ以上の結果を残している。「共に学び・共に育ち・共に生きる」方針のもと、地域の学校の役割として、すべての生徒の学びの場を保障する。

令和 7 年度に向けて I C T を活用し Society5.0 における「学び」の時代への対応を急ぎ、多様な学習の方法として新しい時代の質の高い学びの場となるよう計画を立て、更なる学習意欲の向上を目指す。新しい時代に向き合いそれぞれ自らの力を最大限伸ばし、協働学習の中から、自らで考え抜く自立した学びを養い、未知なる課題をも解決できる探究的な能力を育成するための一層の学力の向上に努める。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を 90%以上にします。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年増加させます。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を 70%以上にします。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させます。
- 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学校 3 年生の割合（4 技能）を 60%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答をする生徒の割合を 70%以上にします。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- I C T の活用に関する目標 令和 7 年度には、一人一台パソコンを、デジタル教材または家庭学習または協働学習支援ツールなどを用いて、毎日活用する。
- 教職員の働き方改革に関する目標 学校閉序日については、5 日の設定をします。

**【その他・教育コミュニティづくりの推進（家庭・地域等と連携・協働した教育）】**

- 特別支援教育の充実に伴う学校安全体制を構築し、人権尊重の意識の高い生徒の育成に努めます。
- 日常生活の中で、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度や自他の人権を守る実践行動へとつなげることのできる生徒を育成します。
- 地域創りの中から、生徒の元気になる活力のある地域文化にふれ、芸術を通して、創造性豊かで、将来地域と共に歩み、地域社会の担い手となる人材を育成します。

## 【安全・安心な教育の推進】

### 全市共通目標（小・中学校）

#### (安全・安心な教育環境の実現)

- ・「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して平均どのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童生徒の割合調査【本市調査】
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

#### (豊かな心の育成)

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】
- ・「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】

### 学校園の年度目標

- ・「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して平均どのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童生徒の割合を、25%以内とする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- ・不登校の生徒の家庭との連絡を密にし、その状況を十分理解するとともに、年度末の校内調査において、多様な学習の場や居場所のない生徒の割合を前年度よりも減少させる。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を95%以上にする。
- ・「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を70%以上にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標（小・中学校）

#### （誰一人取り残さない学力の向上）

- ・平均正答率の対全国比（国語）【全国学力・学習状況調査】
- ・平均正答率の対全国比（数学）【全国学力・学習状況調査】
- ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）【本市調査（大阪市英語力調査）】
- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】

#### （健やかな体の育成）

- ・体力合計点の対全国比（男・女）【全国体力運動能力、運動習慣等調査】
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合【全国体力運動能力、運動習慣等調査】

### 学校園の年度目標

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 70% 以上にする。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 60% 以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### （教育 DX（デジタルトランスフォーメーション））

授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合「ただし、学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く」【本市独自調査】

### 基本的な方向 7

#### （人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合【本市独自調査】

### 基本的な方向 8

#### （生涯学習の支援）

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしていますか」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】

#### （家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

「『はぐくみネット』・『学校元気アップ地域本部』や学校協議会などの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して、肯定的に回答する小中学校の割合【本市調査】

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を90%以上にします。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年増加させます。
- ・「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して平均どのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童生徒の割合を、25%以内をめざす。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を70%以上にします。
- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させます。
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合（4技能）を60%以上にする。
- ・全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比（男・女）**1.00**以上をめざす。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答をする生徒の割合を70%以上にします。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・本市教育センターの独自調査における授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）50%以上をめざす。
  - ・ICTの活用に関する目標 令和7年度には、一人一台パソコンを、デジタル教材または家庭学習または協働学習支援ツールなどを用いて、毎日活用する。
  - ・教職員の働き方改革に関する目標 学校閉庁日については、5日の設定をします。
- ### 【その他・教育コミュニティづくりの推進（家庭・地域等と連携・協働した教育）】
- ・特別支援教育の充実に伴う学校安全体制を構築し、人権尊重の意識の高い生徒の育成に努めます。
  - ・日常生活の中で、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度や自他の人権を守る実践行動へつなげることのできる生徒を育成します。
  - ・地域創りの中から、生徒の元気になる活力のある地域文化にふれ、創造性豊かで、将来地域と共に歩み、地域社会の担い手となる人材を育成します。

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を90%以上にする。</li> <li>年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年増加させる。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>計画的な道徳教育・人権教育の授業だけでなく、地域や外部講師による教職員研修や体験学習を立案し実践する。地域・保護者との連携を図り、いじめ・問題行動を生まない学校づくりを推進する。 (いじめへの対応)</p>	
<p>指標</p> <p>年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対し、肯定的な回答する生徒の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策1-1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>家庭訪問や三者懇談や区役所こども教育等の外部機関とも連携し、多様な学習の場での学びを提供し、不登校生の改善を目指す指導体制を構築する。 (不登校への対応)</p>	
<p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍率を前年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容③【施策1-2 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>保護者とともに、ICTを活用し出席日数の増の取り組みとともに、学校・区役所こども教育・子供相談センター等の外部機関とも連携し、学校外での専門的な学習の場も考え、不登校生の改善を目指す指導体制を構築する。 (不登校への対応)</p>	A

**指標**

年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

**取組内容④【施策2 豊かな心の育成】**

生徒の自己肯定感を高めるための教育活動を実施し、互いに認め合える、心豊かな生徒の育成をする。学期ごとに実施するアンケート調査を実施する。長期休業後の教育相談指導体制を構築し早期に発見に努める。

全国学力・学習状況調査及び年度末校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいとおもいますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、95%以上をめざす。全国学力・学習状況調査及び年度末校内調査において、「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、**70%**以上をめざす。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立都島中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 70% 以上にする。</li> <li>・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において 経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</li> <li>・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当（英検 3 級）以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 60% 以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を男女共に 80% 以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 授業で言語活動を活発に取り入れ、生徒が主体的に授業を展開できるような工夫を行い個々に研究課題を設定した研究授業で相互に参観する。             指標 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。</p>	
<p><b>取組内容②【施策 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 国語・数学・英語の授業では複数の指導者が授業に当たり、よりきめ細かい指導を行う。各教科では相互参観等で授業改善を行う。学力向上サポーター・学校元気アップのテスト前自習室の開設・みやこ塾等での学習支援により学習のつまずきの改善を図る。（言語活動の充実）             指標 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p>	
<p><b>取組内容③【施策 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 授業内容を工夫し、授業では複数で授業に当たり、デジタル教科書や ICT の活用また言語活動等により、きめ細かい指導に当たる。             指標 本年度は、大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル（英検 3 級）相当以上</p>	

の英語力を有する中学校3年生の割合（4技能）60%以上を目指す。

**取組内容③【施策5 健やかな体の育成】**

生涯を通じて体づくり運動や食育の大切さを、教科・領域など保健体育科・家庭科・健康教育・保健指導などで学びの場を広げ、食育通信を月1回発行・保健委員会でポスター月1回啓発、食育教育指導を年間1回以上行う。横断的なカリキュラムの工夫により、自らの健康保持増進の大切さを伝える。

(体力・運動能力向上のための取組の推進・健康教育・食育の推進)

**指標**

年度末の校内調査において「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する生徒の割合を70%以上にする。それとともに、食育通信・保健指導での食育教育などで、自らの体のことを考えることのできる機会を毎月1回以上行う。

- ・全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比（男・女）**1.00**以上をめざす。

**取組内容④【施策5 健やかな体の育成】**

感染症の防止や熱中症予防の観点から、日々の生活の中での習慣や自らの心や体調を知ることが身につくよう指導する。（防災・減災教育・健康教育の推進）

**指標**

「心の天気」の活用や全校集会等や委員会活動の中で、毎月1回以上保健委員会を中心に啓発活動などに取り組み、健康の保持増進を高める活動行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立都島中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p><b>【ICTの活用に関する目標を設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)</li> </ul> <p><b>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を、令和7年度末に56.4%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b></p> <p>ICTを活用した授業の教材研究を進め、各教科で積極的にICT機器を活用する。授業日において学習者用末端を活用した学習を実施する。 (ICTを活用した教育の推進)</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)75%以上をめざす。</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合の基準1をめざす (働き方改革の推進)</p> <p><b>指標</b></p> <p>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の「プラン」における目標の達成をめざす</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

## 大阪市立都島中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【教育コミュニティづくりの推進（家庭・地域等と連携・協働した教育）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の充実に伴う学校安全体制を構築し、人権尊重の意識の高い生徒の育成に努めます。</li> <li>日常生活の中で、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度や自他の人権を守る実践行動へとつなげることのできる生徒を育成します。</li> <li>地域創りの中から、生徒の元気になる活力のある地域の文化にふれ芸術を通し、創造性豊かで、将来地域と共に歩める地域社会の担い手となる人材を育成します。</li> <li>生徒の元気になる活力のある地域の文化にふれ、芸術を通し、創造性豊かで、将来地域と共に歩める地域社会の担い手となる人材を育成し、校内調査において「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定回答の生徒の割合 80%とする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 8・9 生涯学習の支援・家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>あらゆる教育活動を通して、情操を育み、自らを表現する力を養う。</p> <p>（「生涯学習大阪計画」に基づいた取組）</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>職場体験など地域との体験学習を実施することにより、豊かな心を育むとともに、体験から感じること・表現することの大切さを学びに取り入れ、校内調査において「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定回答の生徒の割合 95%とする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	